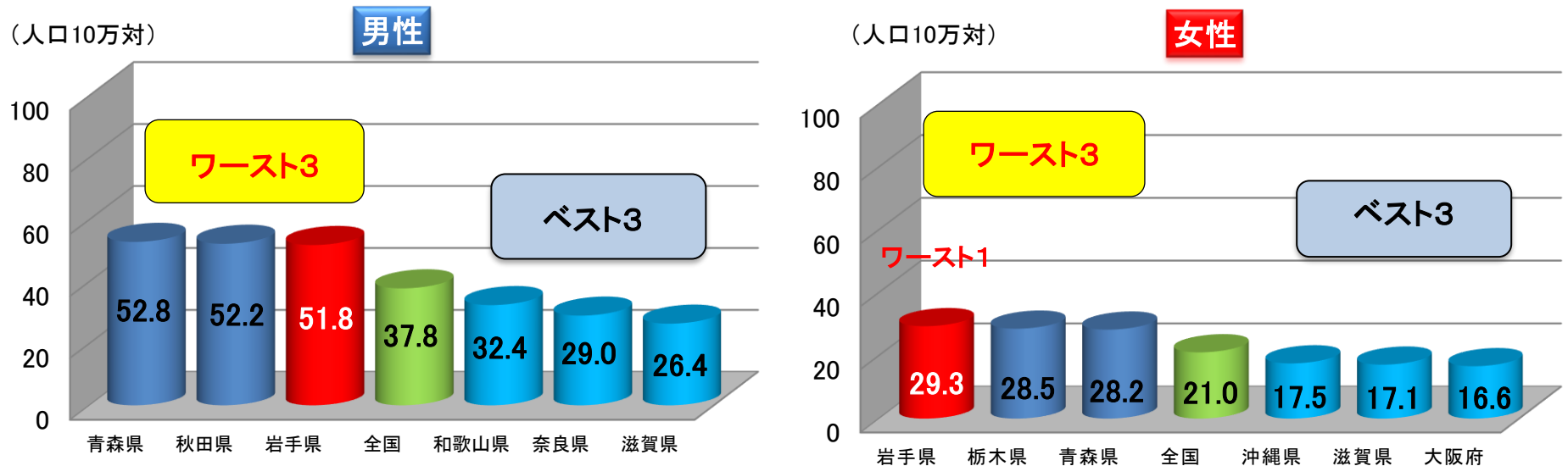


岩手の脳卒中

国が公表する最新統計（平成27年）によれば、岩手県の脳卒中死亡率（年齢調整死亡率）は、女性が全国ワースト1、男性が全国ワースト3となっています。岩手県では、令和2年は1,876人の方が脳卒中で亡くなっており、死因別では、がん、心疾患に続いて3番目に高くなっています。

平成27年脳血管疾患の年齢調整死亡率（人口10万人対）※
（出典：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」）



※年齢調整死亡率とは、人口構成の異なる集団間の比較のため、死亡率を一定の基準人口に当てはめて算出した数値です。厚生労働省では、人口動態統計特殊報告として、5年（国勢調査年）ごとに都道府県年齢調整死亡率を公表しています。

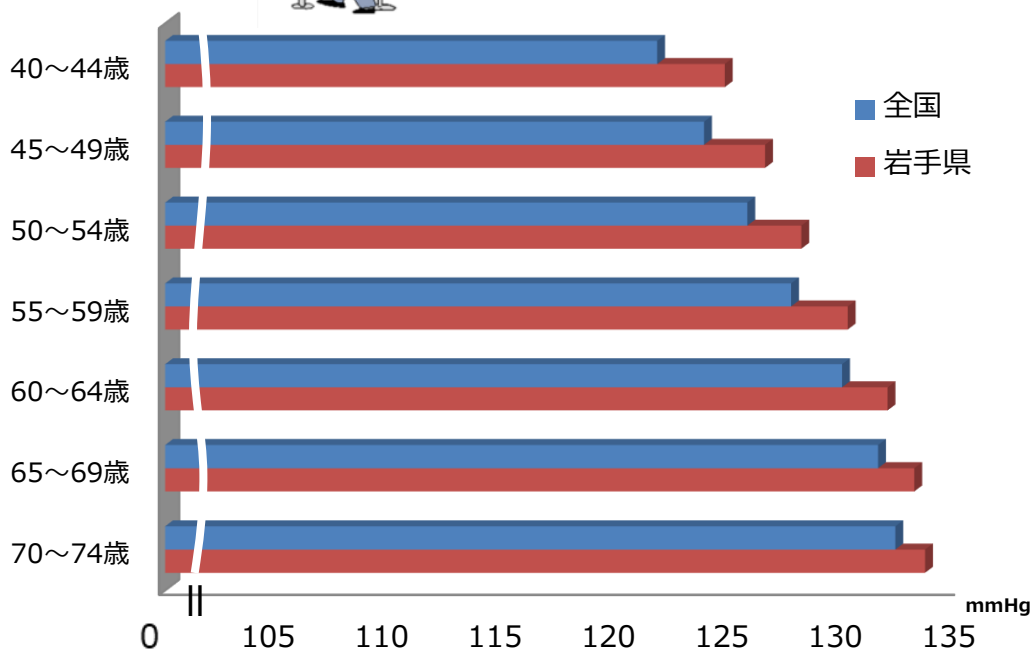
脳卒中の発症に係わりのある血圧の状況

岩手県の40～74歳は、男女ともに全国に比べて収縮期血圧（最高血圧）平均値が高い状況です。

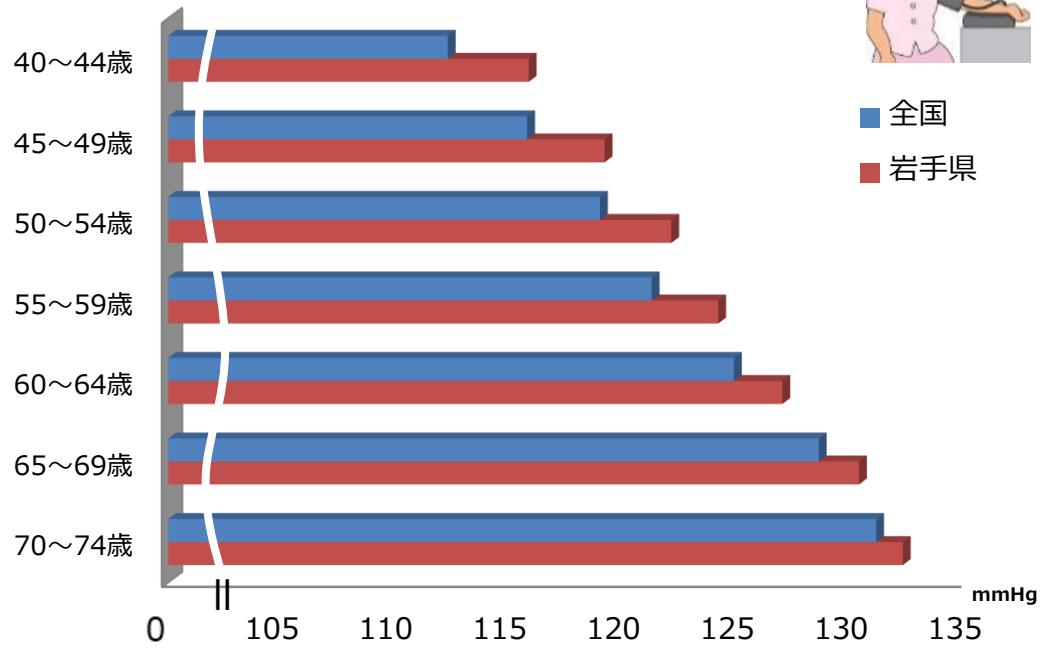


令和元年度全国と岩手県の収縮期血圧（最高血圧）平均値の比較

男性



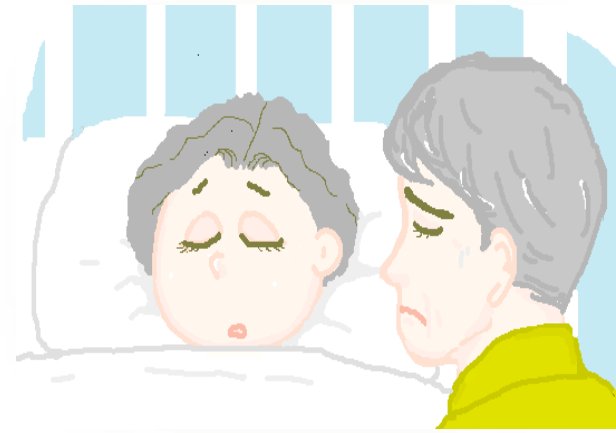
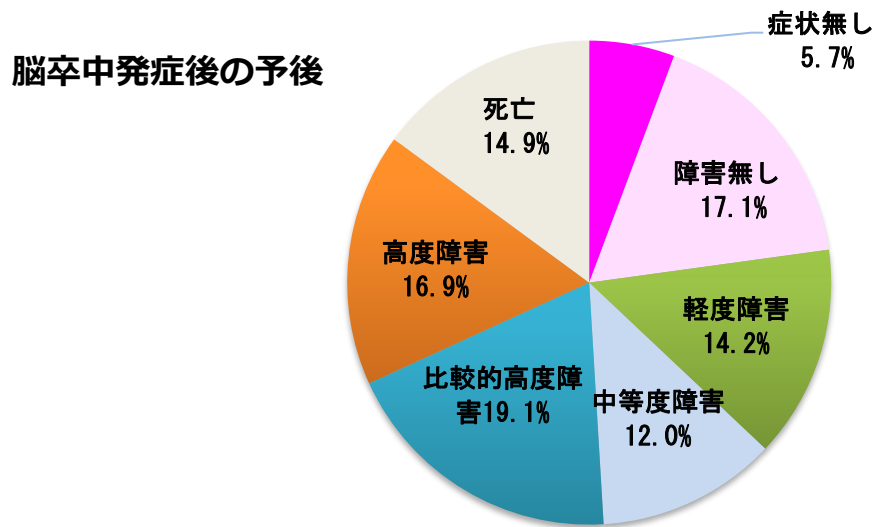
女性



県民の力で脳卒中を予防しましょう！

脳卒中にかかった方のうち、症状や障害がなく回復する方は、わずか**22.8%**です。**14.9%**の方が亡くなり、**62.2%**が軽度から高度障害の後遺症が残る状態となっています。

健康で生き生きとした生活を送るために**脳卒中**を予防しましょう。



出典：令和元年岩手県地域脳卒中登録事業報告書「表7転帰と臨床診断」

もしかして脳卒中!?

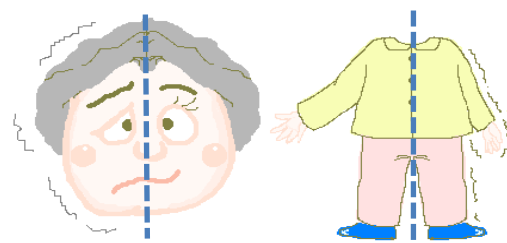
こんな症状が出たら迷わずすぐに119番

※すぐに症状が消失（一過性脳虚血発作）しても、脳卒中の前触れである可能性があります。

- 言葉が出てこない
ろれつが回らない



- 顔半分や左右どちらかの手足の感覚がおかしい・動かない



- 急な激しい頭痛



- グルグルまわるようなめまい
フラフラして立てない・歩けない



- 片方の目が見えなくなる
視野の半分が見えなくなる
ものが二つに見える



- 意識がもうろうとする
反応がない



脳卒中 は一刻も早く治療を始めることが大切です